

本田あきこ オレンジ日記

新型コロナウイルス感染症対策とこれから
～女性局での活動～



自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長
参議院議員・薬剤師 本田顕子

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が5月25日にすべての都道府県で解除されました。一方で、外来患者の減少、長期投薬の増加等により、医療機関のみならず薬局の経営状況も厳しくなっていることから、党内や国会で薬局への支援を訴えてきており、早期支援のための第二次補正予算を成立させることができました。積極的な活用がなされますことを願っております。

さて、今月のオレンジ日記は、自民党の女性局における活動の一部を報告させていただきます。月刊女性誌「りぶる」の特集企画「新型コロナウイルス感染症対策とこれからのこと」をテーマに、医療系の女性議員座談会が行われ、私も薬剤師議員として参加することになりました。女性薬剤師の先生方から寄せてくださった現場の声をこの座談会で紹介させていただくことができました。私からは次のような発言をさせていただきました。

- 緊急事態宣言の解除は、国民の皆様の正しい行動の結果であり、医療従事者の使命感と行動のおかげである。
- 薬局は、予約もなく様々な方々が来られるので、常に感染のリスクにさらされている。
- 子育て中の女性薬剤師の場合、保育園からの呼び出しで早退せざる場合が多く、肩身の狭い思いをしているとの声が届いている。
- 国から届けられた布マスクにより、医療用マスクは医療現場に回そうとの意識が高まった。
- メディアによる報道の在り方の問題として、科学的根拠のない情報の発信が見られ、医療の現場に混乱が見られたとの声がある。 等

この座談会の模様は、7月号の「りぶる」に掲載される予定ですので、ぜひご覧になってください。

国政の場において、薬剤師会はもちろん、SNSを通してつながる皆様方からの貴重なご意見を踏まえ、自信をもって現場の声を発言できています。これからも頑張っています。



支援者からいただいた手作りマスク



薬局薬剤師の方の手作りマスク



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda